

はじめに



三方を海に囲まれた本県の水産業は、四季折々の特色ある新鮮な水産物を私たちに供給する重要な産業です。一方、魚価の低迷による収益性の悪化や漁業就業者の減少と高齢化、漁獲量の減少など、さまざまな課題を抱えています。

こうした中、本県では、平成19年に策定した「石川県新水産振興ビジョン2007」に基づき、県産水産物の首都圏などへの販路拡大やブランド化、新規就業者の確保など各種の施策を進めてきました。

この間、平成23年に「能登の里山里海」が世界農業遺産の認定を受けたほか、北陸新幹線金沢開業も契機に新鮮な県産水産物への注目が高まり需要が増大しています。一方、本格的な人口減少時代に突入し、担い手の確保が一層厳しくなる中、将来にわたって水産業を維持・発展させるため、今後10年を見据えた新たな「いしかわの水産業振興ビジョン」を策定しました。

新ビジョンでは、県内外からの人材の確保や定着に向けたフォローアップのほか、「能登とり貝」など本県の特色ある水産物のさらなるブランド価値の向上などにより、収益性の高い漁業経営の実現を目指しています。また、世界農業遺産「能登の里山里海」を構成する海女漁など、美しく豊かな海で育まれた水産資源の持続的な利用と保全の取り組みを一体的に展開することとしています。

県では、この新しいビジョンに沿って、生産から加工、流通・販売にわたる関係機関・団体、市町との連携を一層強化することで、本県水産業が未来へつなぐ魅力ある産業としてさらに発展するよう取り組みを進めてまいります。

終わりに、本ビジョンの策定にあたり、貴重なご意見・ご提言を賜りました策定検討会議の委員の皆様や関係各位に対し、心よりお礼を申し上げます。

平成29年6月

石川県知事 谷本 正憲